

## 生活

### 自然のなかの神学校

農村伝道神学校は新宿より1時間半、町田市の郊外、雑木林や畑が散在する自然の豊かな地にあります。校内には実習農場、畑、竹林があり、自然に囲まれ土に親しみながら学生生活をしています。鶴川学院が神学校と共に運営する鶴川シオン幼稚園の子どもたちは、毎日神学校にやって来てグラウンドや野原を飛び跳ねています。校内ではフリースクールなど他の団体も活動しています。

### 学校礼拝

礼拝は週2回行なわれ、学生・教師・講師が共同で礼拝をつくりあげています。聖書に聞きながら経験や学びを分かち合うときです。

### 実習

宣教の現場を体験するために教会実習、社会実習などを夏期に行なっています。農村教会、農村社会、様々な課題を担うセンターでの実習に加えて、アジア学院での農業実習を選択することもできます。

### 台湾・玉山神学院との交換交流

台湾先住民族の神学校である玉山神学院と様々な交流をし、互いに学びあっています。実習として夏には相互に隔年で学生の交換交流を行っています。

### 教会生活

教会生活を重んじ、出席教会の働きに積極的に参加することが求められています。

### 共同生活

学生寮が用意されています。ご利用ください。

### 奨学金制度

2025年度から新しく奨学金制度が始まります。学生の事情によって、学費相当の奨学金を受けることができます。

## 2025年度入学要項

### ◆受験資格

- (1) 日本基督教団に限らずプロテスタント教会に所属し、原則として受洗後1年以上（洗礼式を行わない教派については、それに準ずる）の教会生活をしている者。
- (2) 所属教会が推薦し（可能であれば）、高卒または同等の学力を有すると認められる者。

### ◆修業年限（裏面教育課程参照）

- 神学基礎コース：2年間。  
（基礎コース修了後、神学専門コースに進むことができる。）
- 神学専門教職者養成コース：2年間
- 神学専門信徒宣教者養成コース：1年間または2年間

### ◆学費

- 入学金 60,000円（入学時のみ）
- 授業料 240,000円（年額）
- 設備費 30,000円（入学時のみ）

### ◆受験手続

次の書類を期日までに郵送または持参する。

- (1) 入学願書（本校指定の書式）
- (2) 履歴書（本校指定の書式）
- (3) 教会（牧師または役員会）の推薦書（可能であれば）
- (4) 最終学校卒業証明書（または卒業見込み証明書）
- (5) 受験料 10,000円（振り込み）

### ◆入学願書受付

- 第1回2024年10月22日（火）～11月8日（金）
- 第2回2025年 1月14日（火）～1月31日（金）

### ◆入学試験日時

- 第1回2024年11月11日（月）午前9時～午後3時
- 第2回2025年 2月 4日（火）午前9時～午後3時

### ◆会場 本校教室

### ◆入学試験科目

- (1) 小論文 (2) 旧約聖書・新約聖書 (3) 面接

◎入学願書一式、過去の試験問題集は、本校事務室まで請求ください（無料）。

学校法人 鶴川学院

# 農村伝道神学校

日本基督教団認可神学校



〒195-0063  
東京都町田市野津田町2024番地  
TEL (042) 735-5775  
FAX (042) 735-5711

郵便振替口座  
加入者名：学校法人鶴川学院  
00140-7-635524  
Eメール:noden@pony.ocn.ne.jp  
<https://noden.ac.jp/>

## 創立

農村伝道神学校は、1948年に「日本基督教団中央農村教化研究所」として始まりました。この研究所は日本基督教団が「農村伝道25ヵ年計画」に基づいて、現在の日野市に設立したものです。初代の所長はアルフレッド・ラッセル・ストーン宣教師でした。ストーン先生は1927年にカナダ合同教会の宣教師として来日し、主に静岡、山梨、長野、富山で働きました。戦争で一時帰国し、1946年に再来日してからは日本の復興とこの研究所の成立に尽力しました。しかし設立間もない1954年に青函連絡船洞爺丸の海難事故に遭って52歳で亡くなりました。ストーン先生の生涯は、最後まで農村で苦しい生活にあえぐ農民と苦楽を共にしようとするものでした。

本神学校はそのストーン先生の意思を受け継ぎ、一人一人の人間を大切にに関わり続けるとともに、同時に個人を取り巻く社会の改善や変革を求めていくことを目指しています。1957年には、現在の町田市野津田町に移転し、神学科の他に農業研修科、保育科、東南アジア科（現在のアジア学院に発展）、そして営利農場を有していましたが、今は神学科のみが残っています（学校法人としては認定こども園鶴川シオン幼稚園も運営）。

2007年には新しい校舎が落成。今までと同じようにその名前を「ストーン記念館」として、その精神を引き継ぐことを確認し、今日に至っています。

